

専 門 科 目

[試験時間90分]

〈看護学専攻〉博士前期課程 研究コース

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、1枚です。
- 3 解答用紙は、2枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験
看護学専攻 研究コース
【専門科目】試験問題

次の問題について解答用紙に記述しなさい。字数制限はありませんが、解答用紙の罫線の範囲内で記述しなさい。

【問題1】

研究計画書がなぜ必要なのか、その重要性を述べなさい。

【問題2】

フロレンス・ナインチンゲールは著書で、看護の仕事について

1) と述べている。この「自己を投入する能力」について、自分の臨床現場（臨地実習を含む）での経験をあげ、あなたの考えを記述しなさい。

出典

1) フロレンス・ナイチンゲール. (湯楨ます 他 訳) 『看護覚え書 -看護であることと看護でないこと-』第8版, p227, 現代社, 2023.

出題の意図および解答のポイント

問題1

【出題の意図】

アドミッションポリシーの【看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性を持ちリーダーシップの発揮を志す人】に基づき、事象を科学的に探究するための方法論について、基礎的な知識を問うと共に、問いについて深く思考しているかを問うものである。

【解答のポイント】

- ・研究計画書の必要性・重要性について、論旨の一貫性を担保しつつ、論述的できている。
- ・文献検討の重要性、研究目的・研究デザイン・研究方法の一貫性、研究課題の学術的・実践的意義、倫理的配慮に関する検討など、研究計画書を作成するにあたり、検討すべき重要事項が具体的に記載されている。
- ・研究計画書を十分に練り、実現可能性のあるものに落とし込んでいくことが、確実な研究遂行を導き、ひいては、研究成果の学術性の高さ・実践への貢献を担保することになることなど、研究の全過程における研究計画書の重要性が記述されている。

問題2

【出題の意図】

アドミッションポリシーの【生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人】の基本となる共感する能力の評価、および、看護の実践において、対象となる患者の立場に立つことの重要性とその限界について、理解と洞察の程度を問う。

【解答のポイント】

- ・自分の臨床現場の経験について、題意に即した内容を具体的に記述することができる。
- ・「自己を投入する能力」について、様々な視点(以下)から考察を深めることができる。

*単に相手と同じ気持ちになることだけではなく、看護実践者として、患者の状態や受け止め方を推測し理解するために、重要かつ必要な能力であることを、論理的に記述できる。

*上記のような必要性や重要性だけではなく、患者が自分とは本来異なる他者である等の「能力の限界」についての考察と、それを補完する看護(視点)について記述できる。

専 門 科 目

[試験時間90分]

〈看護学専攻〉博士前期課程 実践者養成コース（公衆衛生看護学）

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、1枚です。
- 3 解答用紙は、4枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験
看護学専攻 実践者養成コース（公衆衛生看護学）
【専門科目】試験問題

次の問題について解答用紙に記述しなさい。字数制限はありませんが、解答用紙の罫線の範囲内で記述しなさい。

【問題1】

研究計画書がなぜ必要なのか、その重要性を述べなさい。

【問題2】

問1. 「健康格差」について説明しなさい。

問2. 地域における健康格差を生み出す要因を3つ以上あげ、具体的に説明しなさい。

問3. 上記の要因の中から、ひとつに焦点をあて、格差を解消するための対策についてあなたの意見を述べなさい。

出題の意図および解答のポイント

問題1

【出題の意図】

アドミッションポリシーの【看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性を持ちリーダーシップの発揮を志す人】に基づき、事象を科学的に探究するための方法論について、基礎的な知識を問うと共に、問いについて深く思考しているかを問うものである。

【解答のポイント】

- ・研究計画書の必要性・重要性について、論旨の一貫性を担保しつつ、論述的できている。
- ・文献検討の重要性、研究目的・研究デザイン・研究方法の一貫性、研究課題の学術的・実践的意義、倫理的配慮に関する検討など、研究計画書を作成するにあたり、検討すべき重要事項が具体的に記載されている。
- ・研究計画書を十分に練り、実現可能性のあるものに落とし込んでいくことが、確実な研究遂行を導き、ひいては、研究成果の学術性の高さ・実践への貢献を担保することになることなど、研究の全過程における研究計画書の重要性が記述されている。

問題2

【出題の意図】

地域看護学における「健康格差」という言葉の概念や、「健康の社会的決定要因」などの知識、それへの関心の程度を問う。保健師養成課程であるため、健康格差・健康の社会的決定要因についての知識や、人々の生活における社会経済面・物理的環境面・教育面などの要素と、健康問題を関連させて考えていく基本的な知識や、看護職としての姿勢について自己の考えを問うものである。また、地域で生活をしている人々を対象とする地域看護の専門職を目指すものとして、看護職が担う役割への認識の程度、また自分の考えを言語化して他者に分かりやすく記述する能力についても評価する。

【解答のポイント】

問1

- ・「健康格差」についての概念や定義などを表す記述がある。
個人の責任だけではなく、社会生活の影響を受けている。
- ・健康の社会的決定要因をふまえた記述がある。

問2

- ・健康格差を生み出すとされる社会的決定要因を3つ以上（異なる概念で）記述できている。

問3

- ・健康の社会的決定要因についての記述がある
- ・「人の暮らし」について関心を持っていることがわかる記述がある。
- ・地域社会を多角的に捉えようとしている（多角的な視点）。
- ・社会生活と健康との関連についての記述がある（知識）。
- ・健康格差解消に向けた対策やアイデアが、自分の言葉で記述されている。

専 門 科 目

[試験時間90分]

〈看護学専攻〉 博士前期課程 実践者養成コース（助産学）

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、1枚です。
- 3 解答用紙は、3枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験
看護学専攻 実践者養成コース（助産学）
【専門科目】試験問題

次の問題について解答用紙に記述しなさい。字数制限はありませんが、解答用紙の罫線の範囲内で記述しなさい。

【問題1】

研究計画書がなぜ必要なのか、その重要性を述べなさい。

【問題2】

育児休業制度は勤労婦人福祉法の努力義務から始まり、その後、女性公務員の一部（教員・看護婦・保母等）を対象とした育児休業法（1975年制定）が成立、民間の労働者を対象として1991年に「育児休業等に関する法律」が成立、翌年施行となった。男性育休は2021年に、さらに2022年に「産後パパ育休制度」が設けられた。2021年度の女性の育児休業取得率は85.1%に対し、男性は育児休業制度の利用を希望していたができなかった者の割合は3割であることや、2021年度の男性の育児休業取得率は13.97%と報告された（厚生労働省 令和3年雇用均等基本調査）。その後、2024年度の男性の育児休業取得率は17.13%、取得日数は46.5日と報告された（厚生労働省 令和4年雇用均等基本調査）。

問1. 育児を行う上で考えられる現在の日本の社会情勢と課題を説明しなさい。

問2. 男性が育休を取得することについてあなたの考えを述べなさい。

出題の意図および解答のポイント

問題1

【出題の意図】

アドミッションポリシーの【看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性を持ちリーダーシップの発揮を志す人】に基づき、事象を科学的に探究するための方法論について、基礎的な知識を問うと共に、問いについて深く思考しているかを問うものである。

【解答のポイント】

- ・研究計画書の必要性・重要性について、論旨の一貫性を担保しつつ、論述的できている。
- ・文献検討の重要性、研究目的・研究デザイン・研究方法の一貫性、研究課題の学術的・実践的意義、倫理的配慮に関する検討など、研究計画書を作成するにあたり、検討すべき重要事項が具体的に記載されている。
- ・研究計画書を十分に練り、実現可能性のあるものに落とし込んでいくことが、確実な研究遂行を導き、ひいては、研究成果の学術性の高さ・実践への貢献を担保することになることなど、研究の全過程における研究計画書の重要性が記述されている。

問題2

【出題の意図】

(問題2)

アドミッションポリシーの【2. 看護の課題を科学的に探究しエビデンスを活用する専門性を持ちリーダーシップの発展を志す人】について、日本における「子どもを生み育てる」に関連する法律や環境に関心をもち、自身の考えを論理的に述べることができるか問うものである。

【解答のポイント】

問題2-1

日本における子どもを生み育てる社会状況と問題点を述べるができる。

- ・日本の社会情勢（子ども家庭庁の設置やこども未来戦略方針など政府の方針があるとさらによい）
課題（核家族化が進んでいること、地域における交流がなく子育て期に孤立しやすいこと、共働き世帯における女性への家事・育児の負担、雇用の考え方、産後うつなど、女性の周産期における心身の状況など）
- ・女性の妊娠から子の養育における身体的精神的負担を述べるができる。

問題2-2

上記に伴う負担を鑑み、男性が育児に参加し育児休業を取得する効果を説明できる。

- ・（男性が育休を取ることによる）ライフサイクルにおける家族の発達について述べるができる。

専 門 科 目

[試験時間90分]

〈看護学専攻〉 博士後期課程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、1枚です。
- 3 解答用紙は、2枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

**令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士後期課程 入学試験
看護学専攻 【専門科目】試験問題**

次の問題について解答用紙に記述しなさい。字数制限はありませんが、解答用紙の罫線の範囲内で記述しなさい。

【問題1】

看護師が臨床倫理¹⁾を学ぶ必要性について、あなたが経験した具体例をあげ、自分の専門分野の視点から考えを記述しなさい。

注)

- 1) 臨床倫理とは、臨床現場において、患者の人格を尊重し、その尊厳に配慮することを目的とする学問のこと（日本臨床倫理学会監修、箕岡真子著、『臨床倫理入門』，へるす出版，2017.から抜粋）

【問題2】

博士後期課程の存在意義について、述べなさい。

出題の意図および解答のポイント

問題1

【出題の意図】

アドミッションポリシー前文の【地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する】に不可欠な倫理的視点について、自己の経験に基づいて理解しているか、および、重要性を深く理解しているかを問う。

【解答のポイント】

- ・問題文に提示した臨床倫理の定義に沿った経験を、具体的に記述することができている。
- ・経験を自己の専門分野の視点から振り返ることができおり、看護師が臨床倫理を学ぶ必要性と関連付けながら、論理的に記述することができている。

問題2

【出題の意図】

博士後期課程の存在意義（人材育成・学術性・社会的責務など）を十分に理解した上で、進学を検討しているのか、受験生の進学に向かう姿勢・見識の深さを問う。

【解答のポイント】

- ・問いに焦点を当て、論旨の一貫性を担保した論述ができている。
- ・本学のアドミッションポリシーを十分に理解し、博士後期課程に存在意義について、人材育成・学術への貢献・社会的責務などの観点から、具体的に、その必要性と重要性が述べられている。
- ・本学のアドミッションポリシーは、以下のとおりである。

『実践科学としての看護学に対する深い学識をもつ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者または組織的指導者を養成する。この教育目標を達成するために、以下の3項目を受け入れの方針とする。(以下、略)』

英 語

[試験時間60分]

〈看護学専攻〉博士前期課程

※研究コース、実践者養成コース（公衆衛生看護学・助産学）は、共通問題です。

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、4枚です。
- 3 解答用紙は、2枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

**令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験
看護学専攻 【英語】試験問題**

【問題1】 次の英文を読み、問いに答えなさい。

(出典) Dianne C. Miner, Sarah H. Ailey, Roy A. Thompson, Allison Squires, Amyela Adarlo, Holly Brown. "We have met the enemy and it is us": Healthcare professionals as the barrier to health equity for people with intellectual and developmental disability. *Research in Nursing & Health*, 2024;47,269-273. より一部抜粋、改編

問1 筆者は初めにどのような問題提起をしているか、日本語で答えなさい。

問2 PWIDDが公平な医療を受けるための障壁として、述べられていることを日本語で3つ答えなさい。

問3 下線部1) を日本語に訳しなさい。

【問題2】 次の英文（抄録）を読み、問いに答えなさい。

（出典） Marta Vidaurreta, Olga Lopez-Dicastillo, Inmaculada Serrano-Monzo, Mainer Belintxon, Elena Bermejo-Martins, Agurtzane Mujika. Placing myself in a new normalized life: The process of becoming a first-time father. A grounded theory study. *Nursing & Health Sciences*, 2022; 24,152-162. より一部抜粋

問1 研究目的を日本語で答えなさい。

問2 研究対象者を日本語で答えなさい。

問3 下線部1) が何を示しているかを、日本語で具体的に答えなさい。

問4 下線部2) を日本語に訳しなさい。

出題の意図および解答のポイント

問題 1

問題概要：知的発達障害者の健康の公平性について書かれたもの。

出題意図：知的発達障害者の健康格差を認め、その障壁を取り除き、健康の公平性を達成するために重要なことを示しており、文章全体を概観し、重要なポイントを読み取る力を問う。

解答のポイント：筆者の意図を理解し、知的発達障害者が公平な医療を受けるための障壁を読み取ることができる。

問題 2

問題概要：初めて父親になる過程を明らかにした研究論文の抄録

出題意図：グラウンデッド・セオリーを通して、周産期介入の指針となる初回父親期を概念化する方法を提供する理論モデルを示しており、研究抄録を出題することにより、研究全体を概観できる力を問う。

解答のポイント：研究目的、方法、結果、看護への示唆について、読み取ることができる。

英 語

[試験時間60分]

〈看護学専攻〉 博士後期課程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、4枚です。
- 3 解答用紙は、2枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

令和7年度大学院保健医療学研究科博士後期課程入学試験
看護学専攻【英語】試験問題

【問題1】次の英文を読み、問いに答えなさい。

(出典) Daisuke Son, Kazuoki Inoue, Minako Kamimoto, Shin-ichi Taniguchi. Keep thinking about unanswered questions in primary care: Cultivating negative capability. *Journal of General and Family Medicine*, 2023; 24, 205. より一部抜粋、改編

問1 プライマリ・ケアにおける “unanswered questions” の例として挙げられていることは何か、日本語で答えなさい。

問2 詩人は、negative capability をどのように表現したか、日本語で答えなさい。

問3 下線部 1) を日本語に訳しなさい。

問4 Negative capability を育むために筆者らが有効かもしれないと述べていることは何か。日本語で答えなさい。

【問題2】 次の英文抄録を読み、問いに答えなさい。

(出典) Tobias Krick, Kai Huter, Dominik Domhoff, Annika Schmidt, Heinz Rothgang and Karin Wolf-Ostermann. Digital technology and nursing care: a scoping review on acceptance, effectiveness and efficiency studies of informal and formal care technologies. BMC Health Services Research, 2019; 19:400. より一部抜粋

問1 看護におけるデジタル技術について、筆者らは何の解決策になりうると述べているか、日本語で答えなさい。

問2 筆者らは、なぜこの研究レビューを実施したと述べているか、日本語で答えなさい。

問3 結果について、以下の選択肢の中から正しいものを選び、番号で答えなさい。

- ① インフォーマルな介護者や小児を対象に評価された技術が多かった
- ② 多くの研究はエビデンスレベルが低かった
- ③ 効果に関する研究には、EHR/EMRを対象としたものが多かった
- ④ 対照群を用いた研究のデザインが、受容性と有効性の評価に最もよく用いられていた

問4 研究を踏まえ、政策立案者に対して筆者らが述べていることは何か、日本語で答えなさい。

出題の意図および解答のポイント

博士後期課程（看護学専攻）に入学の受け入れに関する方針（アドミッションポリシー）

1. 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち、看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造性」を有している人
2. 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人
3. 看護学の発展に貢献する意思をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

【問1】

問題概要：近年、医療分野でも注目されつつある「ネガティブ・ケイパビリティ」について書かれたもの。あいまいな時代における、答えのない問いを考え続ける能力、不確実性への耐性の重要性をうたっている。

出題意図：あいまいで多様性が求められる現代に、医療分野のプロフェッショナルとして必要な能力について、比較的新しい考え方を題材に考える力を問うものである。

解答のポイント：negative capabilityの意味を理解し、現代社会におけるその重要性や必要性について読み取れ、和訳で適切に表現できる。

【問2】

問題概要：看護ケアにおけるデジタル技術のスコーピングレビューの抄録

出題意図：看護ケアにおけるデジタル技術に関するレビュー文献の抄録を出題することで、最新の知見の理解、および研究全体を概観できる力を問うものである。

解答のポイント：研究の背景や必要性、結果の理解、研究を踏まえた提言について、読み取れ、和訳で適切に表現できる。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験 看護学専攻 研究コース 【面接】試験問題

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

1. 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
2. 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
3. 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
4. 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

問 1. 【看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する姿勢】

なぜ修士課程の進学を考えましたか、教えてください。

【評価の視点】看護の課題を、科学的視点を持って探求していく姿勢を有しているかを評価する。

問 2. 【看護学の発展に寄与し、実践力を高めようとする姿勢】

看護職の専門性を発揮するために自律性を備えることについて、あなたの考えを教えてください。ここでの自律性とは、「自らを律する」と書く自律についてです。

【評価の視点】看護実践を行うにあたって、高い倫理観に従って、考え行動する姿勢を有しているかを評価する。

問 3. 事前相談を受けた看護学分野の教員担当【看護実践や教育・研究に対する自己との向き合い方】

あなたが取り組む研究課題とその動機について説明してください。また、研究についてどのような成果を想定しているのかを教えてください。

【評価の視点】自己の研究課題についてのこれまでの向き合い方や、実践力・研究力をどのように高めようとしているかについて、評価する。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験
看護学専攻 実践者養成コース（公衆衛生看護学）
【面接】試験問題

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

1. 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
2. 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
3. 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
4. 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

1. 【エビデンスを活用する専門性・看護学の発展に寄与できるアイデンティティ】

今、あなたが興味を持っている地域における健康問題について教えてください。
その健康問題に関心をもった理由と解決に向けて、あなたの考えを述べてください。

【評価の視点】社会情勢・問題への意識の程度、これまでの看護実践におけるエビデンスの活用、看護学の発展に寄与できるアイデンティティ。これらについての考えを論理的に自分の言葉で説明することができる。

2. 【生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力・実践力を高めようとする人】

あなたはなぜ保健師になりたいと考えますか。これまでのご自身の経験を踏まえて具体的に説明してください。

【評価の視点】公衆衛生看護を学ぶことへの志向性、大学院実践者養成コースで学ぶ意義、自身の将来像への向上心を問う。これらを踏まえて保健師という専門職を目指す明確な意思を、自身の経験を踏まえて具体的に説明できる。

3. 事前相談を受けた看護学分野の教員担当【看護の課題を科学的に探究、および、看護実践や教育・研究に対する自己の向き合い方】

大学院実践者養成コースで、あなたが取り組みたい研究課題と、その動機について説明してください。また、どのような看護学上の貢献が予想されますか。

【評価の視点】自己の研究課題についてのこれまでの向き合い方、実践力・研究力を高めるための方策・意欲について問う。大学院という高等教育機関で、どのように学び、何を得たいと考えているのか明確な指向性の語りが認められる。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士前期課程 入学試験
看護学専攻 実践者養成コース(助産学)
【面接】試験問題

入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）

以下のような人材の受入れを行う

1. 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力を持つ人
2. 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもち、リーダーシップの発揮を志す人
3. 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
4. 看護の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

問1. 【生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力】

助産師は、対象となる女性の「伴走者」と表現されることがよくあります。これまで、あなたは、看護学生（または看護師）として、実習（または実践）を通して感じた「対象に伴走した」、その具体的な経験とそこからの学びを述べてください。

評価の視点：アドミッションポリシーの【生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力】の潜在的能力を評価する。具体的な場면을提示しながら、対象に寄り添いともに苦難を乗り越えた具体的な経験を語るができるかをみる。また、その実践から、今後の看護実践に活かせる学びを、リフレクションをもとに自らの言葉で述べるができるかをみる。

問2. 【看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮】

近年、出産後母子とその家族が安心して暮らすことができるためには、助産師は病院での助産業務や保健指導だけでなく、地域においても役割を果たすことが求められています。大学・専門学校の看護基礎教育の授業で学修したこと、実習での体験、テレビや新聞で見たり聞いたりしたことから、自身が考える助産師の地域における役割についてあなたの考えを述べてください。

評価の視点：アドミッションポリシーの【看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮】の潜在的能力を評価する。助産師の専門性が理解でき、社会情勢から考えられる地域における母子やその家族の課題について、自らの考えを述べるができるかをみる。また、これらの考えを、自身の体験や学修したことを踏まえて、現実的・論理的に説明できる。

問3. 【看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人】

実践者養成コースで取り組みたいと考えている課題研究のテーマと、そのテーマが助産学の発展にどのように寄与できると考えるのかを述べてください。

評価の視点：アドミッションポリシーの【看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人】に合致する考えをもつ人物であるかを評価する。課題研究のテーマを選定する理由として、助産学に関連する社会情勢など背景や動機を明確に述べることができ、研究の意義として、助産学の発展に貢献できることを論理的に説明できる。

令和7年度 大学院 保健医療学研究科 博士後期課程 入学試験

看護学専攻 【面接】試験問題

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

本学のアドミッションポリシーは、以下のとおりである。

実践科学としての看護学に対する深い学識をもつ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者または組織的指導者を養成する。この教育目標を達成するために、以下の3項目を受け入れの方針とする。

- 1) 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち、看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造力」を有している人
- 2) 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人
- 3) 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

問 1. 【看護学の発展や社会への還元を目指す研究者としての姿勢】

あなたが実践の場で研究が必要だと感じた、あるいは、研究成果が役立ったと感じたことを教えてください。

【評価の視点】看護の課題を科学的に探究し、看護研究を遂行していこうとする姿勢を評価する。

問 2. 【自立した研究者になるための、自己のあり方】

あなたが修士課程で取り組んだ研究と、その研究の意義について教えてください。

【評価の視点】看護学の発展や社会への還元に取り組む姿勢について評価する。

問 3. 事前相談を受けた看護学分野の教員担当【看護実践や教育・研究に対する自己との向き合い方】

あなたが博士後期課程で取り組む研究課題について、修士課程で取り組んだ研究との関連や、その研究成果を実践・教育・研究にどのように生かせると考えているか教えてください。

【評価の視点】看護への志向性、看護研究への創造的思考と実践力について評価する。

専 門 科 目

[試験時間90分]

〈臨床検査学専攻〉博士前期課程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、2枚です。
- 3 解答用紙は、4枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

[公開用]

【アドミッション・ポリシー】

1. 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
4. 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

問題 I. 人工知能(AI)技術が臨床検査にもたらすメリット、課題について、あなたの考えを500文字以内で記述しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
4. 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

解答のポイント：

- ・技術的、倫理的な観点から説明できる。
- ・具体的な事例や技術を挙げながら説明できる。

問題 II. 以下の問いに答えなさい。

問1. 糖尿病に特有な合併症とそれを生じる原因について、200文字以内で記述しなさい。

問2. 臨床検査技師として、糖尿病の管理における患者への関わり方について、あなたの考えを200文字以内で記述しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

1. 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人

解答のポイント：

- ・糖尿病の合併症についての専門的な知識を説明できる。
- ・臨床検査技師が行える患者への関わり方について、具体的な事例を挙げながら説明できる。

専 門 科 目

[試験時間90分]

〈臨床検査学専攻〉博士後期課程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、2枚です。
- 3 解答用紙は、3枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

[公開用]

【アドミッション・ポリシー】

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
4. 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

問題 I. 抗菌薬が効かない薬剤耐性菌問題に対し、日本でも薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプランが策定されています。病院などの医療関連施設において薬剤耐性対策は重要であり、インфекションコントロールチーム (ICT) や抗菌薬適性使用支援チーム (AST) が設置されています。ICT や AST での臨床検査技師の役割について、どのようなことが考えられるか、400 字以内で記述しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・薬剤耐性菌を増やさないために、臨床検査技師として貢献可能な役割について具体的に言及できる。

問題 II. 症例は 60 歳の男性です。仕事中に前胸部を締め付けられる痛みが出現し、症状が持続するため来院しました。心電図検査を行い、II、III、aVF 誘導にて上方に凸型の ST 上昇が認められ、その後待合室で意識を失いました。この時、臨床検査技師として取るべき対応について、今回の病態や心電図変化に触れながら、あなたの考えを 500 文字以内で記述しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・心電図所見から病態把握を行うための基礎知識を説明できる。
- ・検査部で意識を失った患者がいる場合、適切な処置を行うことができる。

英 語

[試験時間60分]

〈臨床検査学専攻〉博士前期課程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、2枚です。
- 3 解答用紙は、2枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

問題1 以下の英文を読み、問1、2に答えなさい。

(Berna AZ, Odom John AR. Breath Metabolites to Diagnose Infection. Clin Chem. 2021 Dec 30;68(1):43-51. より一部改変し引用)

問1. 下線部①と②を和訳しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に和訳できるか。
- ・呼気の性質を説明できるか。

問2. 呼気分析の特徴と利便性について日本語で述べなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人

4. 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

解答のポイント：

- ・英文内容を理解し、日本語で正しく説明できるか。
- ・呼気分析の特徴と利便性を説明できるか。

問題2 以下の英文を読み、問1、2に答えなさい。

(Walters H. Blocking IL-11 improves healthspan and lifespan in mice. Nat Aging 4(8): 1033, 2024 より一部改変し引用)

問1. 下線部を和訳しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域にさまざまな課題についてリサーチマインドをもって探求し、解決に努力する人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に和訳できるか。

問2. 著者らが仮説を検証するために、2番目に行った実験と、その結果について、日本語で述べなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域にさまざまな課題についてリサーチマインドをもって探求し、解決に努力する人

解答のポイント：

- ・英文内容を理解し、日本語で正しく説明できるか。

英 語

[試験時間60分]

〈臨床検査学専攻〉博士後期課程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、試験問題を開いてはいけません。
- 2 試験問題は、2枚です。
- 3 解答用紙は、2枚です。
- 4 受験番号を、全ての解答用紙の所定欄に記入してください。
- 5 解答は、解答用紙に横書きで、鉛筆またはシャープペンシルを使用して記入してください。
- 6 試験開始の合図があった後、試験問題及び解答用紙を確認し、印刷不鮮明、乱丁、落丁等があった場合は、手をあげて監督者に知らせてください。
- 7 試験中は、全て監督者の指示に従い、用件のあるときは黙って手をあげてください。
- 8 下書き等は、この試験問題の余白を利用してください。
- 9 試験開始後40分間及び試験終了前10分間は、退室できません。
- 10 解答用紙は、必ず提出し、試験問題は持ち帰ってください。

問題1 以下の英文を読み、問1~3に答えなさい。

(Chen S, Chen G, et al. Association between glycated albumin and adverse outcomes in patients with heart failure. J Diabetes Investig. 2024 Oct;15(10):1457-1463. より一部改変し引用)

問1. 下線部①を和訳しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に和訳できるか。

問2. グリコアルブミンの形成について日本語で述べなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文内容を理解し、日本語で正しく説明できるか。

問 3. グリコアルブミンの測定意義について日本語で述べなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文内容を理解し、日本語で正しく説明できるか。
- ・グリコアルブミンの測定意義について説明できるか。

問題2 以下の英文を読み、問1～4に答えなさい。

(Aamodt SA, Wang S. "Welcome to your brain," Bloomsbury, p89, 2009 より引用)

問1. 下線部①を和訳しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に和訳できるか。

問2. 下線部②を和訳しなさい。

出題意図：対象となるアドミッション・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に和訳できるか。

問3. 下線③を和訳しなさい。

出題意図：対象となるアドミSSION・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に和訳できるか。

問4. 実験動物に physical exercise を課すことによって生じる現象を4つ述べなさい。

出題意図：対象となるアドミSSION・ポリシー

3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人

解答のポイント：

- ・英文を読解し、正確に解釈できるか。

2025（令和7）年度大学院博士前期課程（臨床検査学専攻）面接試験問題

【公開用】

（アドミッションポリシー）

1. 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
4. 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

問題1

- 1) 大学院進学の志望動機について
- 2) 臨床検査学領域における研究活動に必要と考えられる基本的な知識・技能・態度について
- 3) 大学院博士前期課程修了後のキャリアについて

出題意図：対象となるアドミッションポリシー

2. 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
3. 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人

評価の視点：

- ・アドミッションポリシーに基づいた能力との関連性

問題2

- 1) 研究テーマの概要について
- 2) 研究の環境について
- 3) 研究仮説に沿った結果が出なかった時の解決法について

出題意図：対象となるアドミッションポリシー：

3. 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
4. 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

評価の視点：研究に対する意欲、準備状況

問題3

- 1) 学部学生のとときと比較して、どのような立場が求められると考えているか
- 2) 臨床検査学に関して、なぜ大学院での研究が必要と考えるか
- 3) 大学院での研究成果は、将来どのような形で患者さんのために還元できると考えているか
- 4) 大学院での研究成果を、将来新たな臨床検査技術の開発に還元できると考えているか

出題意図：対象となるアドミッションポリシー

1. 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
4. 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

評価の視点：

- ・大学院生の立場や研究についての考え方

2025（令和7）年度大学院博士後期課程（臨床検査学専攻）面接試験問題

【公開用】

（アドミッションポリシー）

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
4. 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

問題1 アドミッションポリシーを意識した質問（面接委員①）

- 1) 本学博士後期課程を志望した動機は何ですか？
- 2) 臨床検査学領域における科学的検証能力とは、どのような能力ですか？
- 3) 大学院修了の成果をどのように生かそうとしていますか？
- 4) 国際専門誌の読解や英語論文作成への意欲は？

出題意図：対象となるアドミッションポリシー：

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
3. 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
4. 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

評価の視点：

- ・アドミッションポリシーに基づいた能力との関連性

問題2

- 1) 研究計画案の概略を5分程度で簡潔に発表してください
- 2) 質疑応答
 - 研究に関する準備状況
 - 研究テーマに関する概要の把握（論文調査を含む）
 - 研究材料についての入手方法
 - 研究に必要な技術、機材
 - 研究成果が予定通り得られなかった場合の対処方法

出題意図：対象となるアドミッションポリシー：

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人

評価の視点：

- ・研究計画案に基づくプレゼンテーションに対する質疑応答
- ・臨床検査学領域における独創的な研究の具体案

問題3 (面接委員②)

- 1) 職場の理解、ご家族の理解
- 2) 経済的な問題
- 3) 時間的余裕の捻出の仕方
- 4) その他

出題意図：対象となるアドミッションポリシー：

1. 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
2. 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人

評価の視点：

- ・大学院生活についての考え方
- ・臨床検査学領域における独創的な研究活動に対する意欲